



平成25年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ドン・キホーテ

コード番号 7532 URL <http://www.donki.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 成沢 潤治

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 高橋 光夫

TEL 03-5725-7588

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・金融機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年6月期第1四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第1四半期	140,379	4.1	8,244	6.0	8,366	13.0	5,069	△24.0
24年6月期第1四半期	134,863	8.1	7,781	13.1	7,405	15.3	6,674	116.3

(注) 包括利益 25年6月期第1四半期 4,960百万円 (△27.0%) 24年6月期第1四半期 6,793百万円 (133.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第1四半期	65.72	65.59
24年6月期第1四半期	86.64	86.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第1四半期	375,193	148,461	39.0
24年6月期	362,651	145,735	39.5

(参考) 自己資本 25年6月期第1四半期 146,276百万円 24年6月期 143,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	10.00	—	21.00	31.00
25年6月期	—	—	—	—	—
25年6月期(予想)	—	10.00	—	21.00	31.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	287,000	3.6	17,400	1.1	17,000	3.3	11,000	△7.8	142.61
通期	560,000	3.7	30,500	4.0	30,300	3.5	20,000	0.8	259.29

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年6月期1Q	77,142,980 株	24年6月期	77,134,880 株
② 期末自己株式数	25年6月期1Q	1,244 株	24年6月期	1,244 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年6月期1Q	77,135,589 株	24年6月期1Q	77,035,875 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要が引き続き発現している中で、海外経済の状況が改善することに伴い、景気回復へ向かうことが期待されるものの、欧州や中国等の対外経済環境を巡る海外の景気減速の不確実性、さらにデフレの進行及び円高の影響により、依然として先行きに対する不透明な状況が続いています。

小売業界におきましては、雇用情勢や所得環境は横ばいに推移しているものの依然として厳しい状況下にある中で、景気動向は概ね横ばいに推移しています。そのため、多様化する顧客ニーズはもとより、節約志向に対しても、迅速で柔軟に対応する体制がますます重要な状況になってきました。

このような状況の中で、当社は「顧客最優先主義」を実践する業態創造企業として、高品質のアミューズメントとサービス及びプライスを常に進化させながら、お客さまに「感激」していただける店舗運営実現のため、さまざまな施策を実行してまいりました。

また、お客さまの行動や嗜好の変化にあわせて、買い回り品はもとより、食料品や日用雑貨品といった最寄品に至るまで、品揃えの充実を図りながら、リーズナブルな価格提案を行うことにより、お客さま支持率を高めてまいりました。

さらに、立地特性や商圈規模に対応した最適な店舗フォーマットを機動的かつ効率的に展開するとともに、プライベートブランド「情熱価格」の販売を拡大するなど、グループ総合力を強化してまいりました。

平成24年7月から平成24年9月末までの店舗の状況につきましては、中部地方に3店舗（三重県—MEGAドン・キホーテ四日市店、静岡県—同 袋井店、岐阜県—同 岐阜瑞穂店）を開店し、その一方で、事業効率の見直しを進めたことから、2店舗（長崎屋室蘭中央店、ドイト大宮大和田店）を閉店しました。

この結果、平成24年9月末時点における当社グループの店舗数は、243店舗（平成24年6月末時点 242店舗）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,403億79百万円、営業利益82億44百万円、経常利益83億66百万円、四半期純利益50億69百万円となりました。

セグメントの業績については、①リテール事業における売上高は1,352億21百万円、営業利益は63億31百万円、②テナント賃貸事業における売上高は39億50百万円、営業利益は13億38百万円、③その他の事業における売上高は12億8百万円、営業利益は5億52百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（単位：百万円未満四捨五入）

	平成24年6月前期末	平成24年9月当四半期末	増減額
資産合計	362,651	375,193	12,542
負債合計	216,916	226,732	9,816
純資産合計	145,735	148,461	2,726

1. 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末（平成24年9月30日）における財政状態において、総資産は前連結会計年度末（平成24年6月30日）と比較し、125億42百万円増加して、3,751億93百万円となりました。これは主として、現金及び預金が46億31百万円及び有形固定資産が116億54百万円増加した一方で、棚卸資産が40億71百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末と比較し、98億16百万円増加して、2,267億32百万円となりました。これは主として、借入金が125億7百万円増加した一方で、未払法人税等が26億68百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末と比較し、27億26百万円増加して、1,484億61百万円となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により得られた資金は、純利益の計上及び減価償却費の計上等により、113億7百万円となりました。

投資活動に使用した資金は、有形固定資産の取得による支出等により、137億53百万円となりました。

また、財務活動により得られた資金は、借入金増加といった増加要因があった一方、配当金の支払いといった減少要因により、96億55百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、370億31百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月17日付の「平成24年6月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、当社グループが事業を遂行している限り、様々なリスクや不確実性が伴います。そのため、実際の業績に影響を与えうる重要な要因として、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う損益への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,237	38,868
受取手形及び売掛金	4,889	4,719
買取債権	6,761	5,997
商品及び製品	83,641	79,570
その他	9,302	10,995
貸倒引当金	△14	△13
流動資産合計	138,816	140,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	59,899	64,422
工具、器具及び備品(純額)	11,522	11,330
土地	97,317	104,188
その他(純額)	598	1,050
有形固定資産合計	169,336	180,990
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	3,779	3,685
敷金及び保証金	32,286	32,110
その他	11,290	11,193
貸倒引当金	△3,122	△3,120
投資その他の資産合計	44,233	43,868
固定資産合計	223,835	235,057
資産合計	362,651	375,193

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	44,793	45,008
短期借入金	14,866	23,358
1年内返済予定の長期借入金	11,121	14,225
1年内償還予定の社債	23,059	21,700
1年内償還予定の転換社債	—	350
未払法人税等	5,783	3,115
ポイント引当金	179	192
災害損失引当金	193	23
その他	20,249	18,316
流動負債合計	120,243	126,287
固定負債		
社債	47,470	48,320
転換社債	350	—
長期借入金	36,476	37,387
デリバティブ債務	119	95
役員退職慰労引当金	387	391
資産除去債務	2,163	2,348
負ののれん	1,592	1,377
その他	8,116	10,527
固定負債合計	96,673	100,445
負債合計	216,916	226,732
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,664	19,672
資本剰余金	22,466	22,474
利益剰余金	104,463	107,912
自己株式	△3	△3
株主資本合計	146,590	150,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△391	△454
為替換算調整勘定	△3,004	△3,325
その他の包括利益累計額合計	△3,395	△3,779
少数株主持分	2,540	2,185
純資産合計	145,735	148,461
負債純資産合計	362,651	375,193

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
売上高	134,863	140,379
売上原価	100,026	103,369
売上総利益	34,837	37,010
販売費及び一般管理費	27,056	28,766
営業利益	7,781	8,244
営業外収益		
受取利息及び配当金	170	165
負ののれん償却額	214	214
その他	363	341
営業外収益合計	747	720
営業外費用		
支払利息	420	391
デリバティブ評価損	323	—
その他	380	207
営業外費用合計	1,123	598
経常利益	7,405	8,366
特別利益		
更生債権弁済益	1,782	—
その他	391	—
特別利益合計	2,173	—
特別損失		
固定資産除却損	49	48
投資有価証券売却損	109	—
店舗閉鎖損失	2	22
減損損失	94	24
その他	27	2
特別損失合計	281	96
税金等調整前四半期純利益	9,297	8,270
法人税、住民税及び事業税	2,746	3,059
法人税等調整額	△360	△131
法人税等合計	2,386	2,928
少数株主損益調整前四半期純利益	6,911	5,342
少数株主利益	237	273
四半期純利益	6,674	5,069

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,911	5,342
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77	△62
為替換算調整勘定	△41	△320
その他の包括利益合計	△118	△382
四半期包括利益	6,793	4,960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,556	4,686
少数株主に係る四半期包括利益	237	274

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,297	8,270
減価償却費	2,357	2,568
減損損失	94	24
負ののれん償却額	△214	△214
引当金の増減額(△は減少)	△119	△73
受取利息及び受取配当金	△170	△165
支払利息	420	391
デリバティブ評価損益(△は益)	323	△7
更生債権弁済益	△1,782	—
売上債権の増減額(△は増加)	187	918
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,921	4,040
仕入債務の増減額(△は減少)	736	234
その他	571	1,264
小計	9,779	17,250
利息及び配当金の受取額	126	126
利息の支払額	△532	△505
災害損失の支払額	△256	△6
法人税等の支払額	△4,264	△5,558
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,853	11,307
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11,800	—
定期預金の払戻による収入	7,172	306
有形固定資産の取得による支出	△5,130	△13,854
敷金及び保証金の差入による支出	△20	△47
敷金及び保証金の回収による収入	579	67
出店仮勘定の差入による支出	△275	△266
投資有価証券の売却による収入	190	8
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△6,360	—
その他	7	33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,637	△13,753

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,150	8,493
長期借入れによる収入	12,000	7,500
長期借入金の返済による支出	△3,335	△3,485
社債の発行による収入	4,901	5,201
社債の償還による支出	△5,254	△5,809
更生担保権の返済による支出	△2,550	—
配当金の支払額	△1,387	△1,620
少数株主への配当金の支払額	—	△630
その他	28	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,553	9,655
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	△151
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,251	7,058
現金及び現金同等物の期首残高	26,875	29,973
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△0	—
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,507	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,131	37,031

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年7月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リテール	テナント 賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	129,625	3,977	133,602	1,261	134,863	—	134,863
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	720	721	449	1,170	△1,170	—
計	129,626	4,697	134,323	1,710	136,033	△1,170	134,863
セグメント利益	5,943	1,289	7,232	488	7,720	61	7,781

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、マーケティング事業、携帯機器販売事業、金融サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額61百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「その他事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結累計期間において、(同)名古屋栄地所及び同社子会社1社の新規連結により、新たにのれんが1,870百万円増加しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年7月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リテール	テナント 賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	135,221	3,950	139,171	1,208	140,379	—	140,379
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	673	674	911	1,585	△1,585	—
計	135,222	4,623	139,845	2,119	141,964	△1,585	140,379
セグメント利益	6,331	1,338	7,669	552	8,221	23	8,244

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、マーケティング事業、携帯機器販売事業、金融サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額23百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。